

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 8 月 11 日 (2011.8.11)

【公表番号】特表 2007-518860 (P2007-518860A)

【公表日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2007-026

【出願番号】特願 2006-550285 (P2006-550285)

【国際特許分類】

C 1 1 D 9/26 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/96 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

C 1 1 D 9/18 (2006.01)

C 1 1 D 9/02 (2006.01)

C 1 1 D 13/10 (2006.01)

A 0 1 N 31/02 (2006.01)

A 0 1 N 61/00 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 9/26

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/96

A 6 1 Q 19/10

C 1 1 D 9/18

C 1 1 D 9/02

C 1 1 D 13/10

A 0 1 N 31/02

A 0 1 N 61/00 C

A 0 1 P 3/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 22 日 (2011.6.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

グリセリン及び乾燥させた腐泥を含む、石鹸。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 6】

用途が医薬である、請求項 1 から 5 のいずれかの石鹸。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 7】

反応物である材料に乾燥させた腐泥を添加し、  
最終生成物から結果として生じるグリセリンを除去せず、  
又は、前記最終生成物にグリセリンを添加することからなる、  
石鹸の製造方法。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 8】

ざ瘡、湿疹、皮膚炎、乾癬、白癬、及び皮膚アレルギーからなるグループから選ばれる  
症状の治療のために製造された、請求項 1 から 5 のいずれかの石鹸。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

石鹸の製造工程での副産物の 1 つは、グリセリンである。グリセリンは石鹸を軟化する  
傾向があり、さらに、その固有の湿気を与える特性のために、シャンプー、バスオイル、  
スクincare やその他類似の製品のための基礎物質として、より大きな価値があると考え  
られているため、通常、最終的な生成物からは除去される。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

本発明は、さらに、本発明の石鹸の医薬としての用途を提供する。特に、本発明の石鹸  
は、ひび割れ及び / 又は、かゆみ及び / 又は、じくじく及び / 又は、湿疹、皮膚炎、乾癬  
、ざ瘡、白癬や皮膚アレルギーのような皮膚病や皮膚の状態の発疹の徴候を抑えるか、又  
は完治させるために用いられる。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

本発明に従った、3 つの石鹸の非制限実施例の製造工程を表 2 を参照して説明する。表  
2 は、本発明の石鹸の 3 つの異なるタイプを作るために利用される反応物の一覧を示す。  
前記石鹸を、ここでは、それぞれ、1398、1397、1393 と表す。

【表 2】

油	オリーブ 油 %	ココナッツ 油 %	ひまし油 %	蜜蝋 %	芳香剤 g 色	雨水 g	水酸化 ナトリウム g	腐泥 乾燥 白 g	腐泥 乾燥 黒 g
機能	主要成分	泡剤	硬化剤	酸化触媒	アピール				
石鹼1398 「ペイラム」 100×80gの塊 オイル量:8332g (5%脂肪分過剰*)	48	42	8	2	ペイラム 60 シタン 30 オレンジ 20 パイン 10 ウコン 20	3165	1297	10	
石鹼1397 「ペロ2」 油量:8334g (5%脂肪分過剰*)	66	30	2	2	オレンジ 60 ベルガモット30 ペイラム 20 パイン 5 ウコン 20	3165	1245	10	
石鹼1393 「ペロホータス」 (5%脂肪分過剰*)	50	40	5	5	パイン 50 リッツィア(食草)10 ベルガモット 10 葉緑素 20	3040	1222		160

\* 脂肪分過剰＝通常酸化に達するまでに必要とする以上の油の余剰のパーセンテージである。

## 【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

それから、水酸化ナトリウムが、水に加えられ、油と同じ約40 にされた。

## 【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 6

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 6 】

油及び水と水酸化ナトリウムの混合物は、その後、バッチ反応器、好ましくは、オフセット・回転パドルを具えた蒸気二重釜に加えられた。さらに、触媒反応を起こすために、先行するバッチからの石鹼も、また混合反応物に加えられた。

【誤訳訂正 1 0】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 7

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 7 】

約 1 時間後に、混合反応物の pH 値が検査された。約 pH 8 に達した時に、所望の香り及び色素構成要素が加えられた。

【誤訳訂正 1 1】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 8

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 8 】

結果として生じる混合物は、液体状態のまま、結果として生じるグリセリンを除去せず、又は、グリセリンを添加し、その後、ステンレス鋼の円柱状の型に流し込まれ、6 日間、暖かい部屋に隔離された。これにより、混合物が凝固するまで、型の中で鹼化反応が続くことが可能となった。

【誤訳訂正 1 2】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 4 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 0 】

湿疹、皮膚炎、乾癬、ざ瘡、白癬や、皮膚アレルギーのような皮膚病や皮膚の状態に関連する、ひび割れ及び / 又は、かゆみ及び / 又は、じくじく及び / 又は、発疹を抑える及び / 又は、完治させることができる、医薬としての本発明の有効性を確認する趣旨で行われた試験に関して、以下の調査がなされた。